

# 家の被害状況を写真で記録しましょう



災害などにより住まいが被害を受けた場合には、各種被災者支援を受けることができます。その際に前提となるのが罹災証明書の交付を受けることです。罹災証明書の発行手続きを迅速に進めることや保険会社に損害保険を請求する際にも役に立つため、建物の除去や修理、片付けを実施する前に被害状況等を写真で記録し、保存するようにしましょう。

**ポイントは、家の外と中の写真を撮ることです。**

## 家の外の写真の撮り方

- カメラ・スマホなどでなるべく4方向から撮るようにしましょう。
- 浸水した場合は、浸水の深さがわかるように撮りましょう。  
※メジャーなどをあてて「引き」と「寄り」の写真をとると、被害の大きさが良くわかります。

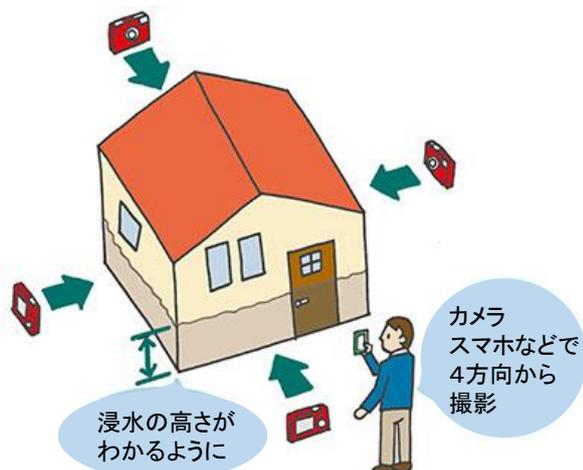
## 家の中の写真の撮り方

- 家の中の被害状況写真は、  
①被災した部屋ごとの全景写真  
②被害箇所の「寄り」の写真を撮影しましょう。

＜想定される撮影箇所＞

内壁、床、窓、出入口、サッシ、襖、障子、システムキッチン、洗面台、便器、ユニットバス など

## ＜イメージ図＞



★被害を受けた部屋・箇所は全て撮影しましょう。

